

「台湾マンゴー」いかが

横浜 無料配布に長蛇の列

台湾の南西部に位置する台南市で生産されたマンゴーを無料配布するイベントが、横浜市中区の横浜中華学院で行われた。地元の子高生や主婦らが長蛇の列をつくり、あっという間にさばける盛況ぶりをみせていた。写真。

イベントは18日に実施され、会場では台南産のマンゴーが約500個用意された。マンゴーの配布に先立ち、台北駐日経済文化代表

処横浜分処が来場者向けの整理券を用意したところ、約30分ですべて配り終えたという。

横浜分処の張淑玲処長は「台南産マンゴーのおいしさを知ってもらいたい。できれば来年以降も開催したい」と話していた。同行した立法委員(国会議員に相当)の陳亭妃氏は「日本の友人は『台湾のマンゴーはおいしい』と言ってくれた」と、うれしそうだった。

た。

台南産のマンゴーは6、7月が収穫の最盛期。皮がリンゴのように鮮やかな赤色をしているのが特長で、甘味があり滑らかな食感があることで知られる。

